

社会福祉法人 大山では以下の事業所において、特定処遇改善加算を取得しています。

事業所名	特定処遇改善加算の区分
特別養護老人ホームときわの杜	特定加算Ⅰ
特別養護老人ホームときわの杜 空床型ショートステイ	特定加算Ⅰ
ときわの杜デイサービスセンター	特定加算Ⅰ

賃金改善以外で取り組んでいる処遇改善内容

1、入職促進に向けた取り組み

- 法人理念、施設運営方針や事業所が大切に考えていることをなるべくホームページに掲載し、施設の様子がわかるように随時発信をしています。
- 中途採用や初めて介護の仕事をする方(無資格の方)、中高年者など、幅広い方を採用し、多様な人材、多世代が活躍する職場をつくっています。
- 積極的に職場体験を受入れ、職場の雰囲気確かめてもらい、ミスマッチを防いでいます。

2、資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- 働きながら介護福祉士取得を目指す方に対して、実務者研修受講支援を行っています。また、無資格の方には初任者研修の受講も支援します。キャリアアップを目指し、自発的に研修参加や資格取得に励む方を応援しています。
- エルダー制度を導入しており、新しく入った方の不安を取り除き、その方に合わせたスピードで指導を行います。
- 主任、課長などと適宜面談を実施し、将来を見据えたアドバイスを行いながら、資格取得やキャリアアップの相談に乗っています。

3、両立支援・多様な働き方の推進

- 女性が多く活躍する職場です。その方の希望に沿った勤務時間などにきめ細かく対応しています。残業もほぼありません。困った時はお互い様という考えで助け合っています。子の看護休暇、介護休暇、産休育休も多くの方が取得しています。
- 小さなお子様を持つお母さんが安心して働くことが出来るように職場内保育園を整備しています。
- 希望者は、上司との面談を通してパート職員から正職員への転換が可能です。
- すべての職員が、連続5連休を取得できる体制を整えています。

4、腰痛を含む心身の健康管理

- 仕事をする上で、まずは自身が健康であることが大切です。自分や家族の健康を守るための栄養や薬の研修を行います。
- メンタル不調が起こる前に、気軽に相談できる風通しの良い職場環境を作っています。
- 全職員にストレスチェックを実施しています。必要に応じて産業医との面談、栄養相談などを実施します。
- 腰痛を予防する為の教育を行い、腰痛予防体操を推奨しています。

5、生産性向上のための業務改善の取組み

- 仕事の内容に応じて、いくつかの階層に分けて職務分担を行い、介護職員の負担を減らしています。役割分担を明確にし、介護職員は介護業務に専念できる環境をつくっています。
- オペレーションシートを作成し、それぞれの勤務における業務の流れを明確にし、誰もが見てわかるようにしています。
- 入居者様個々の個人ファイルを作り、より深く理解し、関わる事ができるようにしています。

6、やりがい・働きがいの醸成

- 法人理念、施設がめざすものを明確に掲げ、全職員が共有できるようにしています。
- ユニットのミーティングや会議、ユニットリーダー会議や多職種連携会議などを定期的に行い、積極的に意見を出し合い、問題の解決や情報共有を図りながら、施設全体が一体となるよう取り組んでいます。
- 看取り介護を行う方に対して、ご家族を交えたカンファレンスを行います。またお看取り後にもカンファレンスを実施し、より良いお看取りができるように多職種で共有しています。全職員が看取り研修に参加します。
- ご家族からのお手紙や謝意を施設内で共有し、モチベーションアップにつなげています。